

アクサ フィナンシャル生命の変額個人年金保険

ほほえみ返し

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

特別勘定（世界分散型30AF）

月次運用実績レポート

2009年1月

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を集集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ フィナンシャル生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年1月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2009年1月]

【国内株式市場】

1月の国内株式相場は下落しました。年始は米国のオバマ新政権による景気対策への期待から上昇して始まりましたが、その後米国の雇用指標や国内の11月機械受注等の悪化が嫌気されて反落しました。中旬には、英国の大手銀行の損失拡大見通しから欧米の金融不安が再燃し、欧州を中心に世界景気の更なる悪化が懸念され、株価は下落が続きました。下旬は、米国における不良資産の買い取り機関設立の構想に対する期待等が下支えとなる一方で、本格化した国内企業の2008年10-12月期決算発表で営業赤字や業績見通しの大幅な下方修正が相次いだこと、国内外のマクロ経済指標の悪化が重石となり、株価は安値圏で揉み合いました。

【外国株式市場】

1月の外国株式市場は、上昇して始まったもののその後は下落に転じ、月間では大きく下落しました。米国株式市場は、オバマ新大統領への期待感から月初は上昇しました。特に2008年に売り込まれていた素材や消費関連などが大きく反発し、上昇を牽引しました。しかしながら、その後は10-12月期の企業業績が予想以上に落ち込んでいることが徐々に明らかになり、株式市場は下落に転じました。欧州株式市場も、米国市場と同様に金融セクターが大きく下落しました。英国の大手銀行の損失拡大見通しから、銀行の業績及び国有化への懸念が高まり、銀行株が急落しました。アジア・オセアニア市場も欧米と同様の動きとなりました。

【国内債券市場】

1月の長期金利(10年国債利回り)は、1.2%台を中心としたレンジでの推移となりました。長期金利は昨年末にかけて一時1.1%台まで急低下していましたが、年明け直後は、オバマ新大統領への期待感から一時1.3%台まで急反発して始まりました。しかしその後、米国の12月の雇用統計が予想を上回る悪化を示す等、経済指標の悪化から株式市場が下落に転じる中、1.2%近辺まで低下する場面もありましたが、同水準では利益確定の売り圧力も強く、狭いレンジでの一進一退の動きが継続しました。下旬にかけては、米国で大型景気対策による国債の増発懸念や、米連邦準備(制度)理事会(FRB)の長期国債買い切り期待の反動等から米国の長期金利が大幅に上昇する展開となりましたが、国内の長期金利への影響は限定的であり、月末は1.2%後半で取引を終了しました。

【外国債券市場】

12月に引き続き、1月も多くの主要国で金融緩和政策が実施されました。ニュージーランドで1.50%、デンマーク、ポーランドで0.75%、ユーロ圏、英国、カナダ、ハンガリーで0.50%、それぞれ政策金利が引き下げられました。また、引き続き主要国では積極的な財政政策が議論されており、各国は景気のでこ入れに懸命な状況です。世界景気が予想以上に急速に悪化していることから、このような積極的な政策が導入されることとなりました。一方で、財政出動のための国債発行額の増加に対する懸念もあり、世界の主要債券市場では、全般的に債券利回りは上昇(価格は下落)しました。

【外国為替市場】

為替市場では、12月に引き続いて主要通貨に対して更に円高が進む展開となりました。米ドル/円相場は前月末の1ドル=91円台から89円台に、ユーロ/円相場は同1ユーロ=127円台から115円台に、ポンド/円相場は同1ポンド=131円台から127円台へと下落しました。世界的な景況感の悪化を受け、質への逃避が進んだことや欧州及び英国で追加利下げが実施されたこと等が背景です。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7F-ストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年1月)

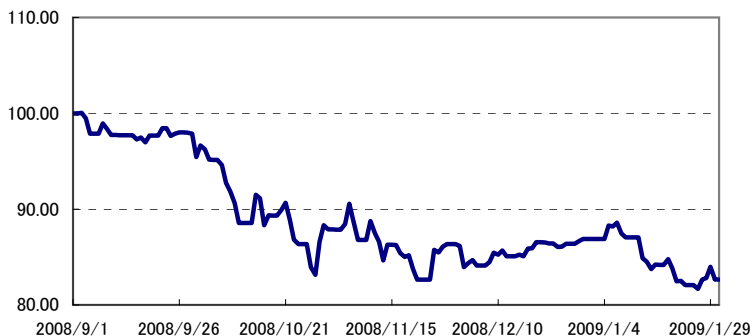
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年1月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30AF	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 ● 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、原則として15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% ● リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 ● 当ファンドの主なリスクとして、資産配分リスク、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスク、流動性リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2009年1月末	82.65	過去1ヶ月	▲4.87%
2008年12月末	86.89	過去3ヶ月	▲5.94%
2008年11月末	86.35	過去6ヶ月	—
2008年10月末	87.88	過去1年	—
2008年9月末	95.44	過去3年	—
—	—	設定来	▲17.35%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AF	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	10,238,208	96.6%
現預金・その他	364,640	3.4%
合計	10,602,849	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7F-ストリート10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

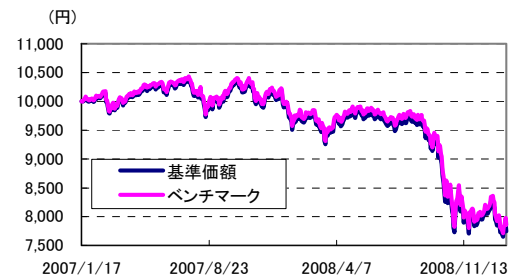
変額個人年金保険 (07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート (2009年1月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2009年1月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したのものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000として表示しております。
基準価額は信託報酬(年率0.315%(税抜0.3%))控除後です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1か月 (2008/12/30)	3か月 (2008/10/31)	6か月 (2008/07/31)	1年 (2008/01/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-4.72%	-5.38%	-20.09%	-20.06%	-22.51%
ベンチマーク	-4.66%	-5.10%	-19.68%	-19.37%	-21.40%
差	-0.06%	-0.28%	-0.41%	-0.69%	-1.11%

騰落率は税引前の分配金を再投資したのものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

分配金情報(税引前)

期	分配金	※分配金は1万円当たり
第1期 (2007.06.22)	0円	0円
第2期 (2008.06.23)	0円	0円
累計分配金	0円	0円

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	7,749円
純資産総額	24,145百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	9.9%	10.0%	-0.1%
国内債券	29.6%	30.0%	-0.4%
外国株式	20.0%	20.0%	0.0%
外国債券	37.5%	40.0%	-2.5%
現金等	3.1%	0.0%	3.1%
合計	100.0%	100.0%	-

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

ファンドの特色

- 主な投資対象** 主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
- 投資方針** マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
- ベンチマーク** 以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

- 【国内株式】 東証株価指数(TOPIX、配当込み)
- 【国内債券】 NOMURA-BPI総合
- 【外国株式】 MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
- 【外国債券(為替ヘッジなし)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 【外国債券(為替ヘッジあり)】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

- 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
- 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 投資信託は
1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7-ストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年1月)

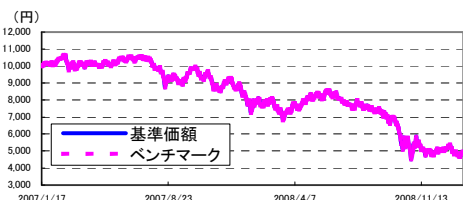
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年1月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:1707銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.71
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.91
3	日本電信電話	情報・通信業	1.97
4	東京電力	電気・ガス業	1.76
5	本田技研	輸送用機器	1.74
6	武田薬品	医薬品	1.59
7	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.52
8	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.50
9	任天堂	その他製品	1.47
10	キヤノン	電気機器	1.42

騰落率

	1ヵ月 (2008/12/30)	3ヵ月 (2008/10/31)	6ヵ月 (2008/07/31)	1年 (2008/01/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-7.61%	-8.18%	-38.55%	-39.88%	-51.94%
ベンチマーク	-7.58%	-8.32%	-38.51%	-39.85%	-51.95%
差	-0.03%	0.15%	-0.03%	-0.03%	0.00%

純資産総額 154,694 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

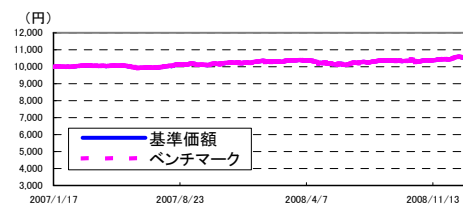
■東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

No.	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	11.56	11.57	-0.01
2	銀行業	10.75	10.75	0.00
3	輸送用機器	8.05	8.05	0.00
4	電気・ガス業	7.27	7.27	0.00
5	情報・通信業	6.85	6.85	0.00
6	化学	5.47	5.46	0.01
7	医薬品	5.39	5.39	0.00
8	陸運業	4.62	4.62	0.00
9	卸売業	4.22	4.22	0.00
10	小売業	4.04	4.05	-0.01

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:501銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	5.2回 利付国庫債券(5年)	2.26
2	5.7回 利付国庫債券(5年)	2.16
3	4.4回 利付国庫債券(5年)	1.96
4	2.9回 利付国庫債券(10年)	1.94
5	4.9回 利付国庫債券(5年)	1.91
6	4.7回 利付国庫債券(5年)	1.70
7	5.4回 利付国庫債券(5年)	1.67
8	6.6回 利付国庫債券(5年)	1.64
9	7.2回 利付国庫債券(5年)	1.62
10	2.8回 利付国庫債券(10年)	1.56

騰落率

	1ヵ月 (2008/12/30)	3ヵ月 (2008/10/31)	6ヵ月 (2008/07/31)	1年 (2008/01/31)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-0.55%	1.44%	2.51%	2.42%	5.54%
ベンチマーク	-0.60%	1.40%	2.40%	2.29%	5.44%
差	0.05%	0.03%	0.11%	0.13%	0.10%

純資産総額 239,015 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	75.09%	74.11%	0.98%
地方債	6.30%	6.17%	0.13%
金融債	2.17%	2.24%	-0.07%
政保債	5.69%	5.53%	0.17%
社債	9.76%	9.66%	0.10%
円建外債	0.23%	0.86%	-0.62%
MBS	0.74%	1.27%	-0.53%
ABS	0.00%	0.16%	-0.16%
合計	100.00%	100.00%	-

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	1.00%	1.06%	-0.06%
平均クーポン	1.45%	1.59%	-0.14%
平均残存期間	7.10	6.93	0.16
修正デュレーション	6.28	6.21	0.07

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。
※「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取る利息の割合のことで表面利率をあらわします。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

○当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

○投資信託は、実質的に株式や債券等の価値のある有価証券(外貨建資産には為替リスクがあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の月次運用実績レポート(2009年1月)

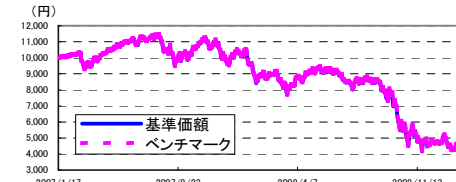
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
 ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2009年1月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
 ※ベンチマークは、MSCIロコサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:1323銘柄)

No.	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	2.93
2	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品	1.26
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	1.20
4	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	1.07
5	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.07
6	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	1.06
7	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロマリット	0.98
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.98
9	BP PLC	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	0.98
10	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	0.92

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

騰落率

	1ヵ月 (2008/12/30)	3ヵ月 (2008/10/31)	6ヵ月 (2008/07/31)	1年 (2008/01/31)	設定率 (2007/01/17)
当ファンド	-6.46%	-18.64%	-49.08%	-50.32%	-56.03%
ベンチマーク	-6.33%	-18.25%	-48.72%	-49.83%	-55.48%
差	-0.14%	-0.39%	-0.36%	-0.50%	-0.55%

純資産総額 178,689 百万円

※設定率の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■MSCIロコサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入上位10カ国

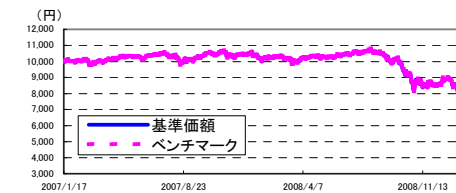
国名	比率
1 アメリカ	55.60%
2 イギリス	10.32%
3 フランス	5.22%
4 カナダ	4.72%
5 スイス	4.50%
6 ドイツ	4.23%
7 オーストラリア	2.99%
8 スペイン	2.22%
9 イタリア	1.78%
10 オランダ	1.29%

組入上位10業種

No.	業種名	比率
1 エネルギー		13.76%
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		10.04%
3 資本財		7.18%
4 食品・飲料・タバコ		6.74%
5 銀行		6.46%
6 素材		5.72%
7 公益事業		5.49%
8 電気通信サービス		5.20%
9 テクノロジー・ハードウェアおよび機器		5.13%
10 ソフトウェア・サービス		4.28%

◆外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券時価総額比



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
 ※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:336銘柄)

No.	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 5.75 08/15/10	米ドル	2.04	1.542
2	US T N/B 3.875 05/15/10	米ドル	1.97	1.292
3	US T N/B 6.5 02/15/10	米ドル	1.84	1.042
4	US T N/B 4.5 11/15/10	米ドル	1.45	1.792
5	US T N/B 4.0 11/15/12	米ドル	1.38	3.792
6	US T N/B 4.875 04/30/11	米ドル	1.37	2.250
7	US T N/B 4.375 08/15/12	米ドル	0.87	3.542
8	ITALY BTFS 5.25 08/01/11	ユーロ	0.86	2.503
9	ITALY BTFS 5.0 02/01/12	ユーロ	0.86	3.003
10	DEUTSCHLAND 5.25 07/04/10	ユーロ	0.86	1.428

騰落率

	1ヵ月 (2008/12/30)	3ヵ月 (2008/10/31)	6ヵ月 (2008/07/31)	1年 (2008/01/31)	設定率 (2007/01/17)
当ファンド	-8.55%	-6.33%	-23.26%	-19.95%	-18.26%
ベンチマーク	-8.44%	-5.64%	-22.44%	-18.92%	-17.39%
差	-0.11%	-0.69%	-0.82%	-1.04%	-0.87%

純資産総額 294,921 百万円

※設定率の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	52.58%
米ドル	33.04%
イギリス・ポンド	8.29%
カナダ・ドル	2.41%
デンマーク・クローネ	0.91%
ポーランド・ズロチ	0.84%
スウェーデン・クローネ	0.64%
マレーシア・リンギット	0.55%
シンガポール・ドル	0.44%
ノルウェー・クローネ	0.29%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	2.80%	2.86%	-0.06%
平均クーポン	4.69%	4.45%	0.24%
平均残存期間	8.25	8.43	-0.18
修正デュレーション	5.86	6.02	-0.16

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

※「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことです。表面利率をあらわします。

※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

○当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

○投資信託は、実質的に株式や債券等の流動性のある有価証券(外資建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストビル10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険 (07) 有期D 2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債などで行っており、株式および公社債などの価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されます。特別勘定資産の運用リスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じる場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ フィナンシャル生命、アクサ フィナンシャル生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。
一般勘定で運用する年金の受取期間中は、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【据置期間中および特別勘定年金受取期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜:年率0.3%)* 特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の受取期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金受取日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額となります。
一般勘定で運用する年金の受取期間中は、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【その他の留意事項について】

■ 受取総額保証金額

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(1年~17年)と特別勘定年金受取期間の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【取扱者(生命保険募集人)】
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿7ア-ストウエー10F
TEL 03-6911-9100 (代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター
TEL 0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)